

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年7月8日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)、らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

〈テーマ〉

色水でゼリーをつくってみよう

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

前回の活動で、子どもたちが「ゼリーみたい。」とつぶやいた。その後も「色水でゼリーを作りたい。」という姿が多く見られた為。

2.活動スケジュール

- ・16名参加。3グループに分け、15分交代で遊ぶ。
- ・好きな色を作り、ゼリーを作る。

3.環境をデザインする


- ・個々にクリアカップを用意し、色水をつくる。ゼリーを作りたい子用に、ゼラチンを用意する。

4. 探求活動の実践

〈活動内容〉

1グループ4名の4グループに分ける。1グループ15分の交代制で遊ぶ。最初の10分は、自由に色を作って遊ぶ。最後の5分でゼリーにしたい色を作り、ゼラチンを混ぜる。どうすればゼリーになるか話し合いをする。小さなプラカップに移した色水を、氷水のタライもしくは水のタライで冷やす。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>色の三原色を理解していなかった子どもが、前回の活動で見つけたオレンジ色の作り方を覚えていた。赤を入れた後、「どの色にしようかな…黄色。」と黄色のタライに赤の色水を入れる。大量のオレンジ色が出来たことを喜ぶ。</p> <p>保育者が、「ゼリーを作るにはゼラチンを入れることが必要だ」と子ども達に伝えると、用意してあったゼラチンをカップに入れ始める。</p> <p>活動終了後、ゼラチンを入れたカップを見て、「もう出来たかな?」と楽しみにするが、固まらないことを残念がる。</p> <p>全員で集まり、どうすればゼリーになるかを問いかけた。「冷蔵庫」や「冷凍庫」など、5歳児が積極的に案を出す。保育者が冷蔵庫と冷凍庫は保育園にはない事を伝えると、5歳児の一人が「氷を入れればいいんじゃない?」と案を出す。</p> <p>結果、完全には固まらなかったものの、柔らかいゼリーが出来た。友だちと出来上がったゼリーの交換をし、混ぜて色の変化を楽しむ。ゼリー交換では、「〇〇色です。いる人?」とお店屋さんごっこを楽しむ。後半になると、液体になるゼリーを見て「先生!ゼリーが溶けた!」と驚く子どももいた。</p>	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

子どもたちのつぶやきや発想から遊びを展開していくことが出来て、良かった。ゼラチンを溶かす際、お湯は水筒を準備することで安全に取り扱うことができた。しかし、水筒の容量が少なく、グループとグループの間に準備時間がかかってしまい、子どもの活動時間が短くなってしまった。この点については、次回工夫していきたい。また、ゼリーをしっかり固める為にはどうすれば良いか、子ども達と話し合いながら、繰り返し試行錯誤できるようにしていきたい。